

# TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)の活動状況

令和2年7月14日 12:00時点

- 九州地方整備局を中心として全国の地方整備局等のTEC-FORCEを被災地に派遣
- 本日320人のTEC-FORCEが排水活動、被災状況調査、リエゾン・JETT(気象庁)による自治体支援を実施。  
降雨時の排水に備え、排水ポンプ車58台(うち九州54台)を現地へ配備。
- 引き続き、球磨村をはじめ被災地において、河川、道路、土砂災害等の被災状況調査を実施。

・派遣人数 のべ3,088人・日  
・災害対策用機械 のべ1,011台・日

## TEC-FORCEによる被災状況調査

- 現地踏査等による被災状況調査の実施  
現地踏査に加え、ICT機器も活用し、安全かつ迅速に公共土木施設等の被災状況を実施し、復旧計画を検討を促進。



7月13日 道路班による現地調査  
(熊本県球磨村)



7月12日 ドローンによる  
(熊本県球磨村)



## 自治体に対する調査結果の報告

- 調査結果の報告  
被災自治体に赴き、被災状況調査の結果を説明のうえ報告。



7月13日 五木村村長へ手交  
(熊本県五木村)



7月13日 調査結果を村長へ報告  
(熊本県五木村)

## 国道219号の早期復旧に向けて

- 甚大な被害を受けた国道219号の早期復旧  
国道219号の道路啓開を迅速に進めるため、TEC-FORCEが現地調査を実施。調査結果に基づき、道路啓開方針を検討し、熊本県の実施する道路啓開を支援。衛星通信車等を派遣し、被災映像配信や打ち合わせスペースを提供。



地元建設業者とともに国道219号・並行する県道を24時間体制で道路啓開(熊本県球磨村)  
対象延長 約47kmのうち約15km(約32%)の道路啓開完了(7月12日時点)



7月13日 衛星通信車による被災映像の提供  
(熊本県球磨村)



7月9日 対策本部車による打ち合わせスペースの提供  
(熊本県球磨村)